



記者発表資料

平成27年10月21日
国土交通省
福島河川国道事務所

相馬福島道路(霊山道路)
りょうぜん

地盤工学会東北支部による見学会のお知らせ

「相馬福島道路 霊山道路」は、平成29年度の開通に向けて工事を進めています。
この度、地盤工学会東北支部の皆様によるトンネルと橋の現場見学会を開催し、構造や施工状況などを知って頂きます。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路（無料）であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙3参照】

記

- 日 時 : 平成27年10月23日(金) 庄司淵トンネル 14:00～(1時間程度)
月舘高架橋 15:30～(20分程度)
- 見学場所 : 庄司淵トンネル しやうじぶち
福島県伊達市霊山町石田地内 【別紙1参照】
月舘高架橋 つきだて
福島県伊達市月舘町御代田字扶桑畑 【別紙2参照】
- 参加者 : 地盤工学会東北支部の皆様 約50名
- 内容 : 施工中のトンネル及び橋に関する工事概要説明・進捗状況見学
- その他 : 取材を希望される方は、開始時間5分前までに集合場所にお越し下さい。
※雨天でも開催します。

【発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話 024-546-4331(代)

副 所 長 あか さか ひろし 赤 坂 浩 (内線205)

工務第二課長 おやまだ かつらお 小山田 桂夫 (内線411)

【現場位置図】

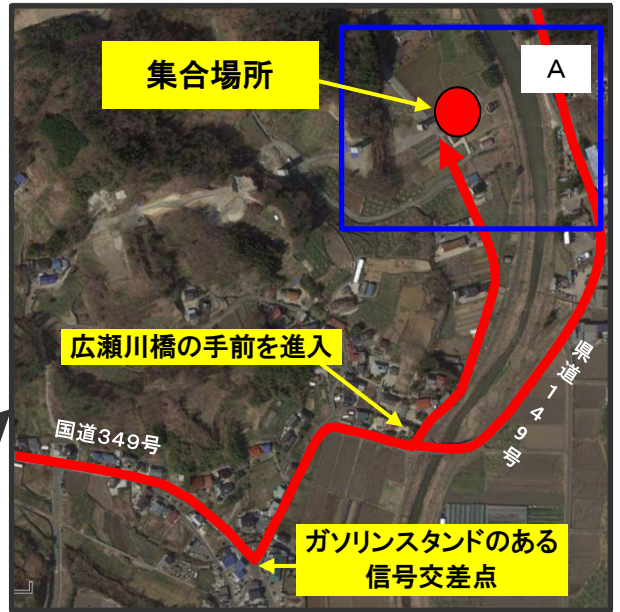


【庄司測トンネル案内図】



【月館高架橋案内図】

別紙2



【復興支援道路】一般国道115号 相馬福島道路の概要

別紙3

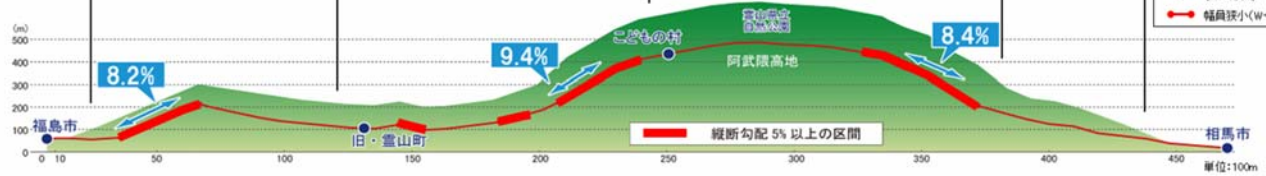
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



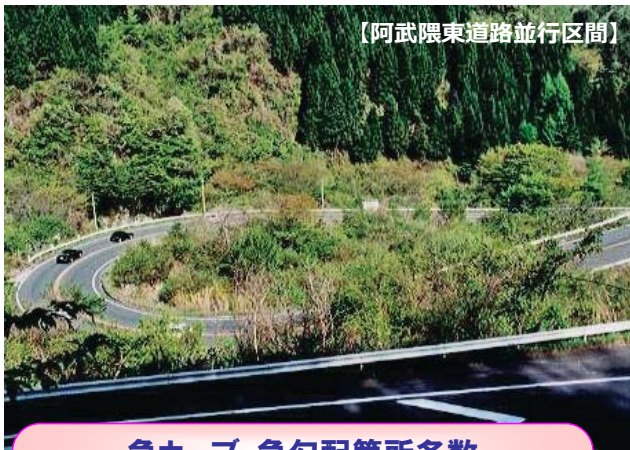
国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

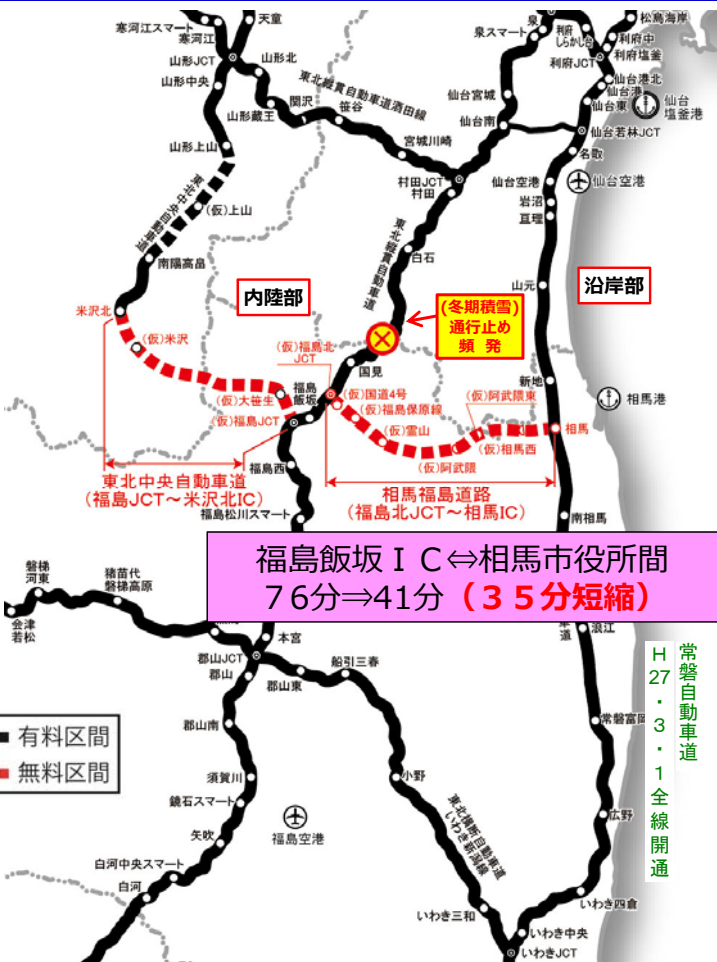


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している
⇒大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道
国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道
(伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)

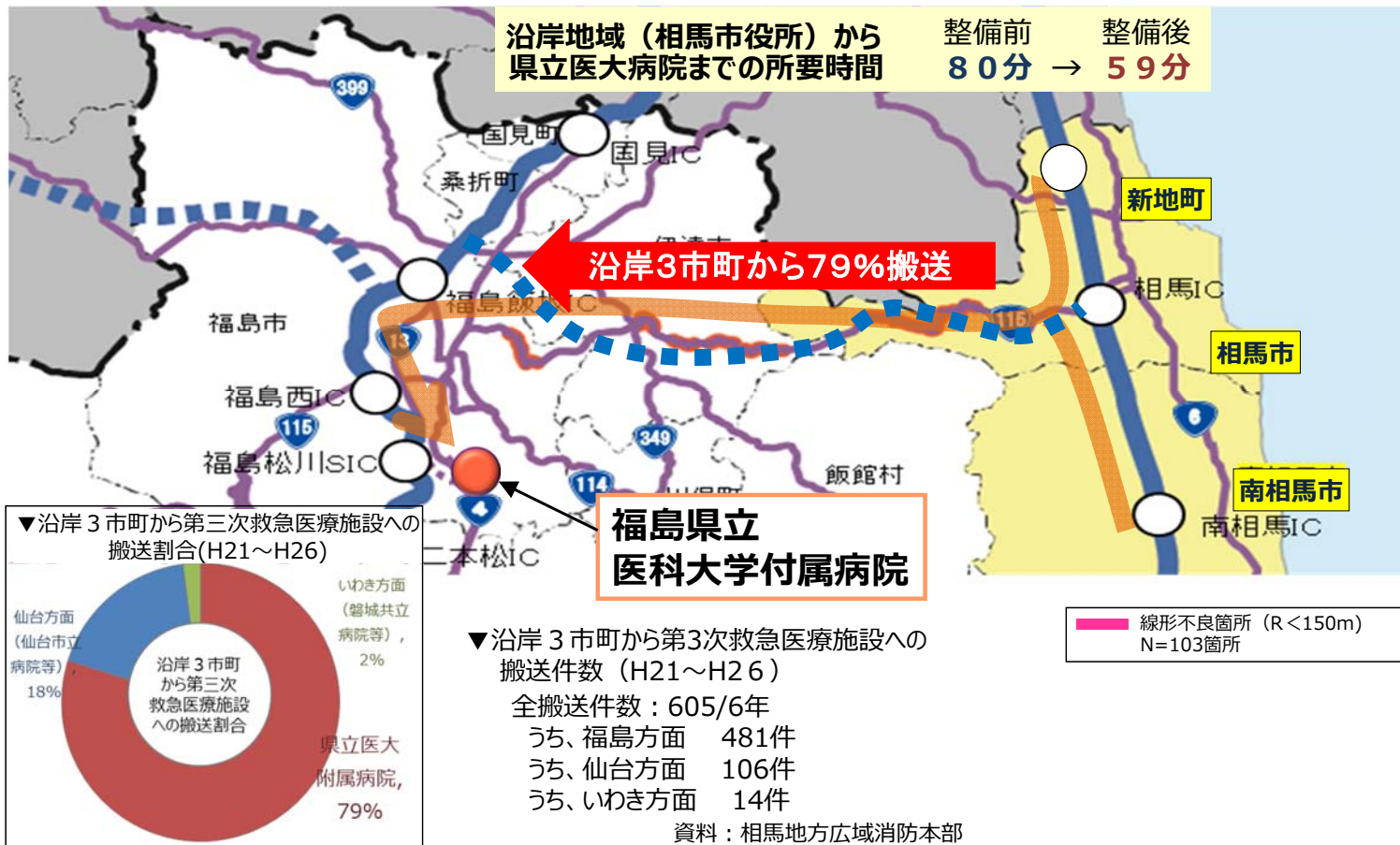


国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



before

